

性描写販売規制 動画協会も反対

「アニメフェア実行不能も」
過激な性描写のある漫画などを子どもに売れないよう規制する都の青少年健全育成条例の改正に対し、アニメ制作会社など59社でつくる日本動画協会は21日、「規制の対象や要件があいまいで、表現の自由の精神に照らして大きな問題がある」などとして反対

動画協会が「遺憾」声明

アニメ制作会社など59社が加盟する日本動画協会は21日、過激な性行為などを描写したアニメや漫画を規制する東京都青少年健全育成条例が成立したことに対し、遺憾とする声明を発表した。声明では、漫画の主要出版社で作る「コミック10社会」が同条例改正に抗議していることを支持する一方、来年3月に開催予定の「東京国際アニメフェア2011」が同会の協力拒否によって「実質的には実行不能な事態になる」と懸念を表明している。

する声明を発表した。

声明では、大手出版社が来春の東京国際アニメフェア2011(実行委員長・石原慎太郎知事)に協力拒否を表明したことで、「参加社の大幅な出展撤回が避けられない」

と指摘。「このままの状況で推移すれば、(フェアが)実行不能な事態になると言わざるを得ない」とした。

同協会には、スタジオリブリや手塚プロダクションなどが加盟。両社を含め、フェア

の実行委員会に入っている加盟社も多い。協会幹部は「都は出版社と事態打開に向けて協議してほしい」と話した。

★動画協会が懸念表明
都青少年健全育成条例の改正をめぐり、主要な漫画出版社でつくる「コミック10社会」が来年三月の「東京国際アニメフェア」(実行委員長・石原慎太郎知事)への参加拒否を

表明した問題で、フェア事務局を務める日本動画協会は二十一日、「これまでのクオリティを保つことが極めて困難。このままでは、実質的に実行不能な事態になると言わざるを得ない」と懸念する声明文を発表した。